国立大学法人
福島大学
Fukushima University

プレス発表資料３

令和６年８月７日

本学附属中学校が第 13 回理科教育大賞を受賞
公益財団法人日産財団理科教育助成

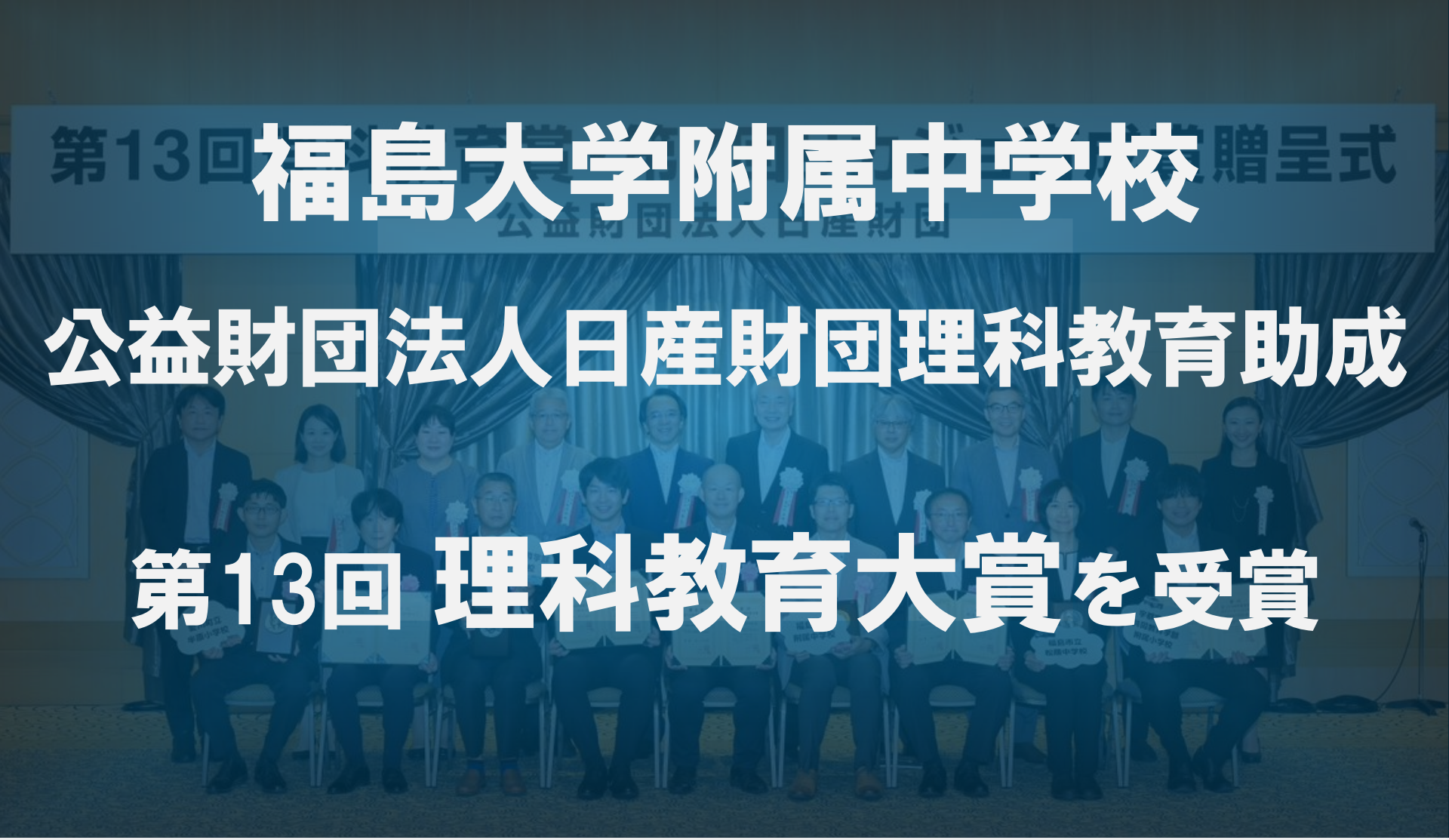
令和６年７月２６日（金）に横浜ベイホテル東急で行われた「第 13 回理科教育賞・第 7 回リカジョ育成賞贈呈式」にて，本学附属中学校が最高賞である理科教育大賞を受賞しました。当日に行われた成果発表会では，大賞候補に選考された４校が，2023 年度に実践した１年間の教育活動の研究成果をそれぞれ発表しました。また，福島県内の小学校，中学校で，理科教育大賞の受賞は，13 年間で初の受賞となっています。

附属中学校では，2022 年度に日産財団理科教育助成を理科教育と STEAM 教育の２つの分野で申請し，2023 年度の採択を受けました。2023 年度から，「県内外公立学校への波及を見据えた『STEAM 教育』の先進的実践による成果と課題の分析」を研究テーマに実践を行ってきました。本校の研究推進にあたっては，本学人間発達文化学類の中田文憲教授，平中宏典准教授から STEAM 教育や理科教育について，専門的な助言を受けながら研究を推進し，地域の公立学校への波及を目指して取り組んでおります。

附属中学校で，2023 年度に実施した学習テーマは，「ごみと物質」「光源装置の作成」「ロガー付き電圧計の作成」「３D 地形図を活用した大地の変化の探究と防災教育」「３D 地形図を活用した気象分析」「ビオトープを活用した生物の観察と環境保全」「プログラミングによる節電効果の検証」「プログラミングによる植物の育成と観察」の 8 つであり，１単位時間にすると 25 時間分の実践事例をつくることができました。これらについて，授業公開や実践事例紹介，パンプレットや事例集の配付を繰り返し実施してきました。

これらの活動が公益財団法人日産財団に認められ，第 13 回理科教育賞・第 7 回リカジョ育成賞贈呈式にて，理科教育大賞を受賞しました。

（お問い合わせ先）
附属中学校　教頭　甚野 隆洋
電　話：024-531-3032（直通）
メール：fucyu@adb.fukushima-u.ac.jp



福島大学附属中学校

公益財団法人日産財団理科教育助成

第13回 理科教育大賞を受賞

第187回定例記者会見 2024.8.7

発表者　福島大学附属中学校
副校長 遠藤 博晃　　教諭 関本 慶太

理科教育大賞の贈呈式の様子

理科教育大賞1件　理科教育賞3件　リカジョ賞1件

中央：関本教諭　右：甚野教頭

13年間で
福島県勢
初の受賞

本校の研究推進について

文部科学省　授業時数特例校制度の指定

理科　**数学**　**総合的な学習の時間**

授業時数の増加

→ 教科等横断的な探究学習の推進

日産財団理科教育助成　研究テーマ

「県内外公立学校への波及を見据えた『STEAM教育』の先進的実践による成果と課題の分析」

研究協力

STEAM教育
福島大学人間発達文化学類
中田 文憲 教授

理科教育
福島大学人間発達文化学類
平中 宏典 准教授

研究の概要紹介

1学年

単元1 単元2 単元3 単元4

全単元で実施

2学年

単元1 単元2 単元3 単元4

2つの単元で実施

3学年

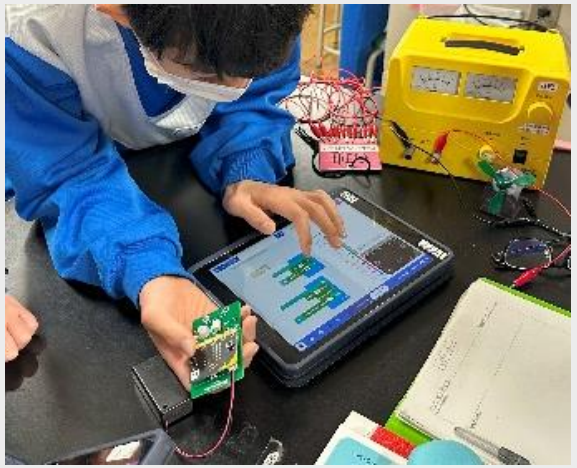
単元1 単元2 単元3 単元4 単元5

3つの単元で実施

8つ学習テーマ

「ごみと物質」　「光源装置の作成」　「ロガー付き電圧計の作成」　「3D地形図を活用した大地の変化の探究と防災教育」　「3D地形図を活用した気象分析」　「ビオトープを活用した生物の観察と環境保全」　「プログラミングによる節電効果の検証」　「プログラミングによる植物の育成と観察」

理科授業 1単位時間で25時間分の授業実践



研究の概要紹介

プログラミングを活用した探究

口頭の説明は省略いたします

作成した光源装置を活用した凸レンズによる像のでき方

１学年

iPadとマイクロビットを活用し，光源装置を作成。**LEDの間隔を読み取り，数量的な視点で倍率を探究。**

センサースイッチによる節電効果の検証

２学年

センサースイッチを用いて回路を作り，**消費電力を計算**。電気制御の**節電効果を数量的に求めた。**

プログラミングによる植物の育成と観察

３学年

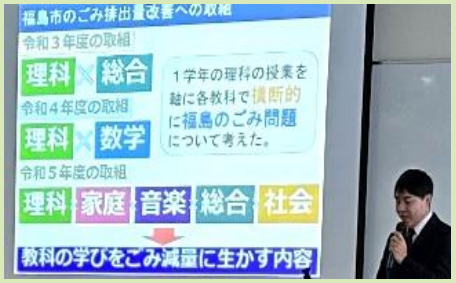
技術の授業の学びを理科に生かす

マイクロビットと給油ポンプを用いて作成した**自動散水機を活用し，ビニールハウス内で植物を育成**。理科の生命の連続性の単元の植物観察に利用。

研究成果〈公立学校への波及〉

生徒発信

教師発信



質問 ［申込時］令和３年度から令和５年９月までにSTEAM教育等の教科等横断的な学習を実践されましたか。

質問 ［年度末］学習指導法研究会から現在までの約３ヶ月間の中でSTEAM教育等の教科等横断的な学習を実践されましたか。

全教科教員の回答（n=165）

	申込時	年度末
実施有	18名	44名 +26名⬆
実施無	147名	121名

15%上昇

理科教員の回答（n=23）

	申込時	年度末
実施有	2名	10名 +8名⬆
実施無	21名	13名

30%上昇

2024年度の実施した公開授業及び研修会